

低薬量と高い活性で 松をガード。

普通物で環境の負荷が小さい天然物(有効成分)
少量の注入で効果を発揮
効果が4年間持続

60ml そのまま自然圧で注入

180ml 加圧容器に移し替え、
ガス加圧で注入。



※使用方法は裏面をご覧ください。

松枯れ防止樹幹注入剤

マツガード®

マツガードは登録商標です

○有効成分：ミルベメクチン..... 2.0%
エチレングリコール..... 15.0%

60mL×10×8 180mL×20×2
容量×入数

 株式会社 **エムシー緑化**



商品写真は平成21年3月以前のものです。

マツガード®

【有効成分】ミルベメクチン……………2.0%
有機溶剤、乳化剤等（エチレングリコール（PRTR1種第43号
15.0%）……………98.0%
【性状】淡黄色澄明液体【毒性】普通物※【危険物】1石-IV
【有効年限・包装】4年・60mL×80、180mL×40
※「毒物および劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物、の指定を受けない物質を示す。

マツガード®の使用法

60mlアンプルによる自然圧注入

キャップを取りはずし、ノズルの先端を指で折り取って、注入孔にしっかり差し込んで下さい。

薬液が飛びちり目に入らぬよう、容器を立て、目線の位置では折らないようにして下さい。
薬液が形成層に触れないように十分注意して下さい。



孔の空気を抜くため、容器の胴部分を2～3回強く押して下さい。



容器の底にある空気抜き穴に、所定の針を刺し空気穴を開けて下さい。



▲ボトルにマジックなどで薬液面に印を付けておくと吸収量がチェック出来ます。

専用容器による加圧注入

加圧容器の青色のキャップをはずし、所定の薬液を加圧容器に移しかえて下さい。

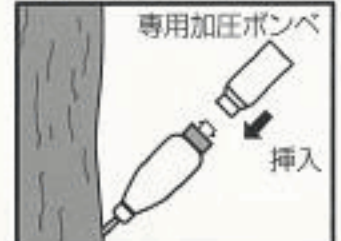
加圧容器1本に、180ml（3アンプル分）のマツガードが入ります。



青色のキャップをしっかり締めた後、専用加圧ポンペを青色のフタのホルダー部分に、ガス音が聞こえなくなるまで押しつけて、ガスを注入して下さい。

薬液注入量が多いときは、注入途中で再度加圧すると注入時間がより短縮できます。

専用加圧ポンペの使用法



適用害虫の範囲及び使用法

平成21年8月1日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミルベメクチンを含む農業の総使用回数	
まつ (生立木)	マツノザイセンチュウ	胸高直径(樹幹部)	マツノマダラカミキリ 成虫発生前 まで	1回	樹幹注入	1回	
		10～15cm					60mL
		15～20cm					60～120mL
		20～25cm					120～180mL
25～30cm	180～240mL						
		※30cm以上は直径5cm増すごとに60mLを増量する。					

上記以外には使用しないでください。

注意事項

- 庭園松は見かけ上胸高直径に比べ材積量が少ないことから、通常の薬量より少なめに注入すること。
- 本剤は1回の注入で4年間、マツノザイセンチュウによる被害防止効果が認められているので、必要に応じて4年毎に注入すること。
- 本剤はマツノマダラカミキリ成虫により伝播されるマツノザイセンチュウの侵入、増殖防止を目的とするもので、マツノマダラカミキリには効果がない。
- 樹脂流出に異常のある松や、葉が変色した松には治療効果がないので使用しないこと。
- 五葉松には薬害を生ずるおそれがあるので使用しないこと。
- 薬剤注入孔は、直径6.0mmのドリルで地上0.3～1m前後の樹幹部に斜め下方に向けて深さ4～5cm程度の孔とし、大きな節や横枝の直下は避けること。
- 注入孔を開けたら直ちに容器の先端を差し込み、容器の底の小孔を開けること。
加圧注入器を使用する場合は、加圧注入器のノズルをしっかりと注入孔に差し込み、所定の薬液を加圧注入器に移し替えること。
薬液が松の形成層に触れないように作業時に十分注意すること。
- 一樹に複数のアンプル又は加圧注入器を使用する場合は、注入孔を樹幹の周囲に分散させて注入すること。
- 孔の修復を早めるため、薬剤注入が終了した孔にはコルク栓、木栓、癒合剤等で蓋をすること。
- 薬剤の注入は晴天の日を選んで日中に行うことが望ましい。

- 注入後の容器は速やかに回収すること。注入終了まで要する時間は樹齢、樹勢によって異なるので注意すること。通常、早いもので1時間以内、遅いものでも3時間程度で完了する。
- 作業中、容器の破損を防ぐため取り扱いには慎重に行うこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、林業技術者等の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当をうけること。
- 注入の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●容器・空袋などは畑場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記録しましょう。

※本製品は松枯れ防止樹幹注入剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
※本印刷物は2009年8月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

販売元



株式会社 エムシー緑化

〒113-0033 東京都文京区本郷4-23-14
TEL 03-5844-2030 FAX 03-5844-2033

取扱い